

農業情報総合研究所／いちじくレポート「ミニトマト農家がいちじく栽培に挑戦」 ／あざみ農園(みどり市)

2025年9月28日、群馬県みどり市にある「あざみ農園」を訪問しました。ミニトマトを耕地面積1.2ha、ハウス7棟で栽培されています。年中出荷です。酸味と甘みのバランスが良く、とても美味しいです。ミニトマト直売所は車で来るお客でひっきりなしです。東京から来るお客もいます。近年の夏の猛暑はミニトマトの栽培に影響しています。そこで、夏秋の出荷として、いちじくの栽培に挑戦しました（一文字仕立、コンテナ栽培）。実は就農した20年前にも挑戦したことがあります。冬の寒さにいちじくが耐えられず失敗しました。今回はミニトマトの栽培が軌道に乗ったので再挑戦です。いちじくは柵井ドーフィンです。ミニトマトと同じくいちじくも完熟のものを直売所で販売しています。とはいえ、この地域にはいちじくの食文化がありませんでした。他にいちじく農家はいないようです。庭に勝手に生えているもの、あまり美味しくないものという認識でした。そこで、直売所では試食から完熟いちじくの美味しさを知ってもらうことから始め、「あざみ農園のいちじくはちがう」という定着が進んでいます。近隣のスイーツ店にもいちじくを卸しており、パフェやケーキとして販売しています。

柵井ドーフィンは全体に大きい、完熟状態でとても甘く、ほんのり酸味も感じられました。

